

# かけはし



10月25日(水)午後7時から、「第1回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会」を開催しました。

委員は、区長協議会やまちづくり協議会をはじめ、就学前のお子様がおられる保護者や小・中学校PTA、学校運営協議会、学校関係者の中から選出された代表18人で構成されています。地域、保護者、学校が一体となって魅力ある学校づくりを進めるため、課題を整理し、取り組むべき具体的な方策を検討していきます。

三木市で一番初めに設置する小中一貫校の学校づくりや教育内容等話し合っていく協議会についてお知らせします。



## 1 組織づくり

### 会長・副会長

会長には、吉川地区区長協議会の岩崎正勝会長、副会長には吉川町まちづくり協議会の森下顕会長を選出しました。

### 協議会の目的

児童生徒の将来を見据えた「子ども主体の学び」を中心に据え、幅広い人間関係の中で、夢や希望に胸を膨らませながら、いきいきと学ぶことができる学校の在り方を検討していきます。

### 今後の予定

協議は、令和6年度末を目途に、6～7回程度開催していく予定です。



## 2 施設一体型小中一貫校設置に至った経緯や概要について教育委員会事務局から説明を行いました

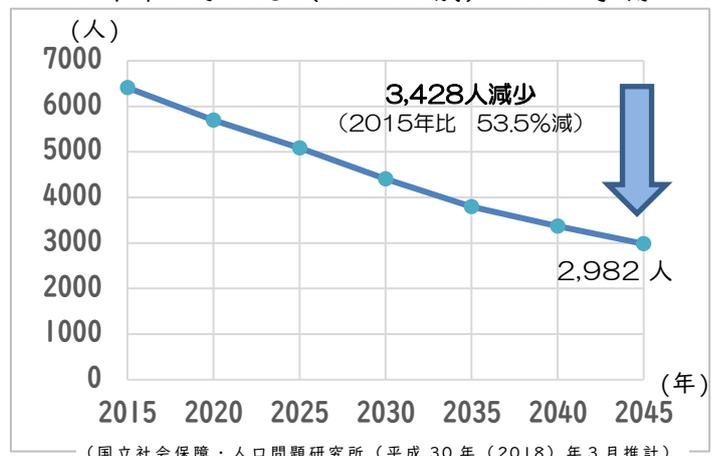
### (1) 施設一体型小中一貫校設置に関する経緯について

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、三木市の子ども人口は急激な減少傾向にあり、吉川地域においても同様の傾向が見られます。

そこで、市では子どもたちにとって望ましい教育環境の整備に向け、学校再編検討会議(H29.3～R1.6)や総合教育会議での協議を通して、小学校の統合による学校規模の適正化を図ってきました。

このたび、令和5年1月の小中一貫教育推進協議会での意見書受領を経て、5月の総合教育会議で学校設置の方針が決定されました。

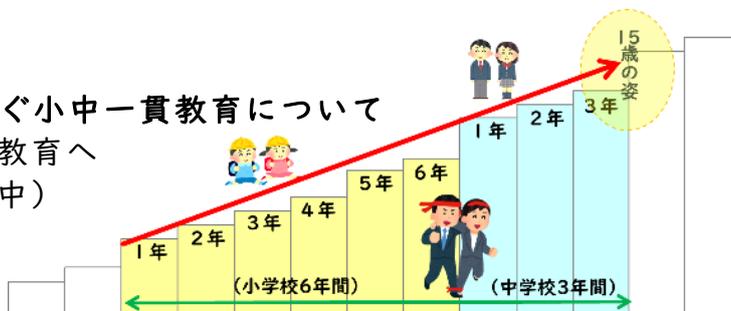
三木市の子ども(5～14歳)の人口予測



(国立社会保障・人口問題研究所(平成30年(2018)年3月推計))

## (2) 三木市の9年間の学びをつなぐ小中一貫教育について

- ・小中連携教育から小中一貫教育へ
- ・実践推進校（吉川小・吉川中）としての実践の積み上げ



## (3) 施設一体型小中一貫校の良さについて

- ・幅広い年齢層の中で多様な学びが生まれる。
- ・1つの職員室で小・中学校教員が容易に情報交換でき、協力して子どもの教育に取り組むことができる。
- ・校内のあらゆる場所で児童生徒がふれあうことができる。
- ・目的に合わせた機能的な施設を設置できる。

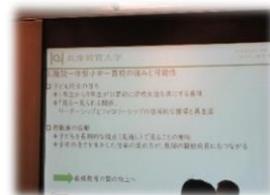


## 3 「施設一体型小中一貫校」について、兵庫教育大学 安藤准教授にご講演いただきました

「小中一貫教育が求められる背景」、「施設一体型の学校の事例」について、学術的な視点から説明していただきました。施設一体型の強みとして、以下の2点を挙げていただきました。

(1) 9学年の児童生徒が日常的に学校生活を送ることで、リーダーシップやフォロワーシップの獲得につながる。

(2) 教職員の協働体制のもと、子どもを長期的な視点で見ることができる。



## 4 意見交換の内容を紹介します (質問?については、2回目以降の協議会でお答えします)

### 【児童生徒像や学校像に関すること】

- ・自分の気持ちを表現し、主体性をもった子どもの育成をめざしていきたい。
- ・子どもが「楽しい」「毎日行きたい」と思える学校にしたい。
- ・モデル校として、良い学校をつくっていききたい。
- ・地域の人とともに吉川の子どもの育てていきたい。
- ・まちづくりの視点と学校づくりはすごくつながっていると思う。
- ・新学校の特徴をアピールし、「入学させたい」「住みたい」としてもらえるようにしたい。
- ・一貫校の中でコミュニティとふれ合えるのがいい。防犯にも配慮していただきたい。
- ・先生の負担も心配。先生自身も楽しくなければ、子どもも楽しくないと思うので、そんな学校づくりが必要。

### 【学校設置に関すること】

- ・開校時期や建設候補地の構想について、事務局として案はありますか。

### 【小中一貫教育の推進について】

- ・学校設置に向けて、小・中学校の子どもたちがふれあう機会を増やしていただきたい。
- ・現在取り組んでいる教員や児童生徒の交流を充実させ、地域の方からもいろんなアイデアをいただけたら嬉しい。
- ・9年間の学校生活では、真ん中あたりの学年で節目を感じる事が少ないと思う。

### 【感想】

- ・一体型だと小学生が中学生を身近に感じることができるのがメリットだと思う。
- ・知らないことをたくさん知ることができた。実際に先進校へ視察に行きたい。

### 【質問】

- ・先進地での学校再編とまちの活性化との関連について?
- ・特認校制度の導入検討について?

**第2回協議会は、  
令和6年1月31日(水)に開催予定です。**



## お問い合わせ

三木市教育委員会小中一貫教育推進室  
電話 0794-82-2000(内線 3523)  
ホームページもご覧ください。  
<https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/89/>  
又は、「三木市 小中一貫教育」で検索

